



MORI SEIKI
THE MACHINE TOOL COMPANY

**2008年3月期第1四半期
決算説明資料**

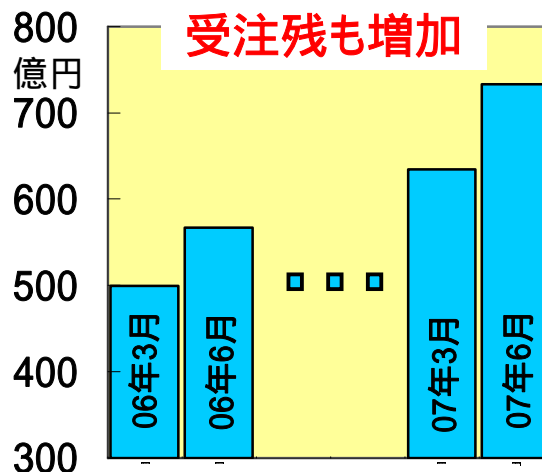
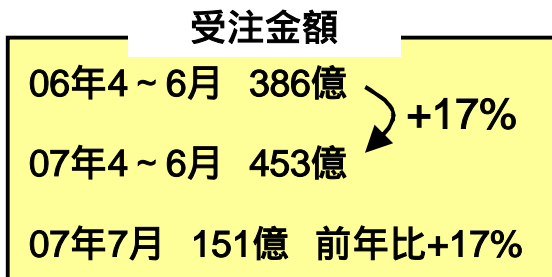
2007年8月2日

本資料には将来の業績見通し及び事業計画等に関する記述が含まれております。
それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの一定の前提に基づいて作成しております。
従いまして、実際の業績は、様々な要素により、これらの業績見通しとは異なるリスクや不確実性があることをご承知おき下さい。

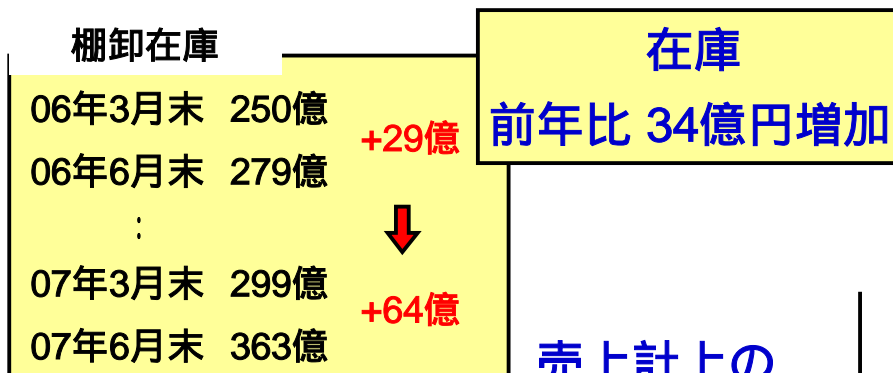
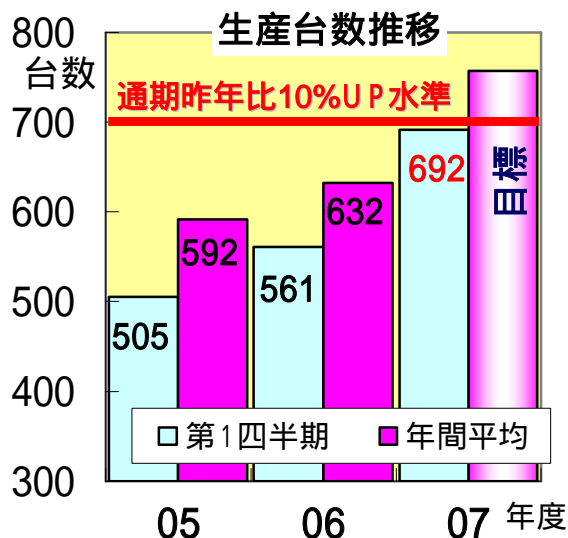


受注残と在庫が同時に増加？

受注金額は順調に増加



生産台数も好調な増加



製品の流れ: 受注 → 生産 → 出荷 → 運送 → 納入 → 据付 → 検収

当社は納入据付後のお客様による確認(検収)をもって売上に計上。

在庫 | 売上



売上高と営業利益の状況

第1四半期における

販管費比率 利益率 の理由

受注拡大に注力した4~6月の営業活動



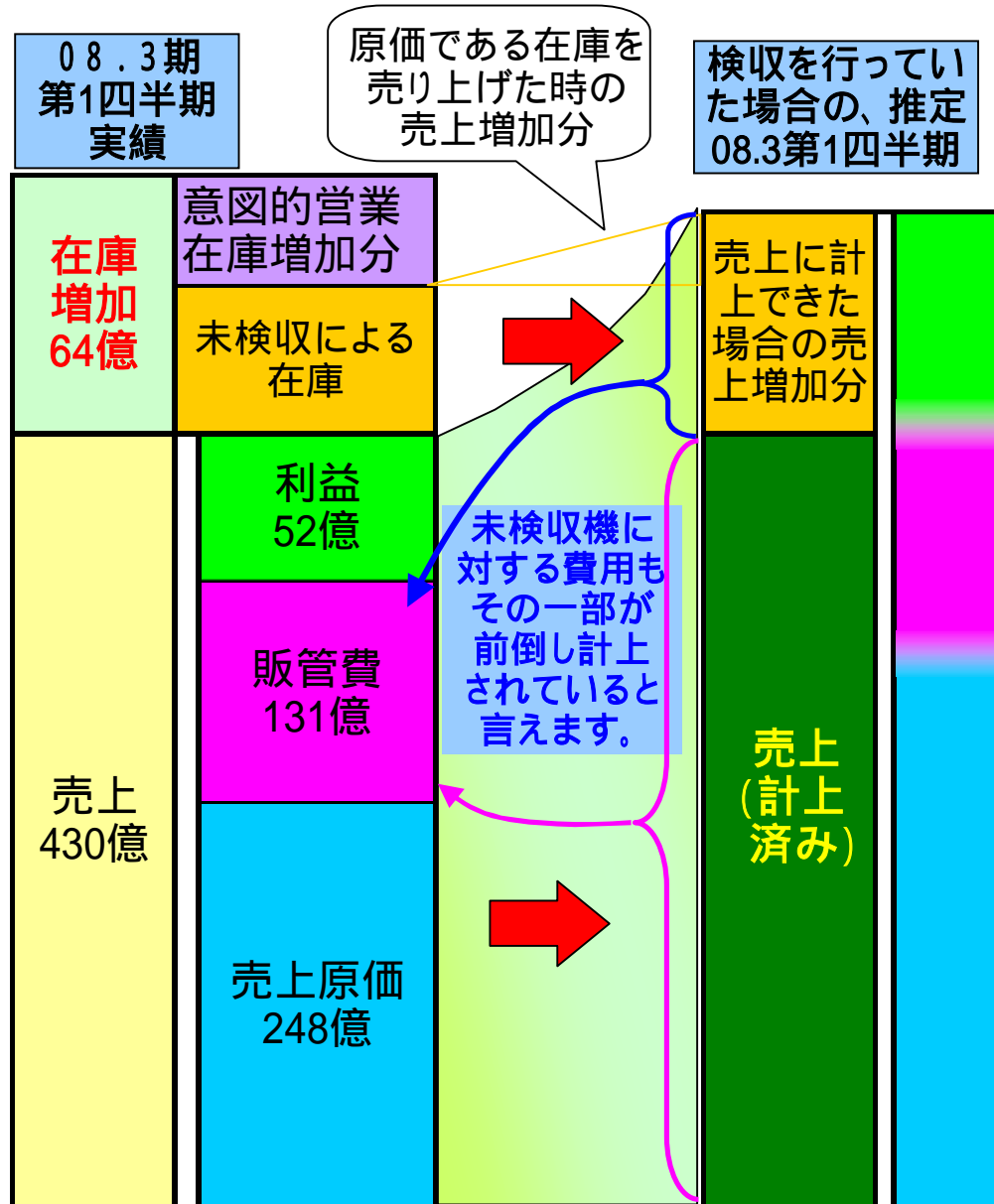
検収の遅れが発生 < 約1週間分 >

1週間 = 1ヶ月 / 4
 月平均150億円 × 1/4 = 40億円弱
 原価率60%から在庫で20~25億円
 が未検収 (= 売上未計上分) と推定



一方で、
 【受注活動】と【運送 納入 据付】
 についての費用は4~6月期に計上済み
 というケースが一部発生。

7~9月期以後は例年と同様に、
 受注に加えて検収・売上にも
 注力します。





第1四半期 決算概要



売上・利益の大幅増加

決算概要

- ・売上高は前年比20%増の430億円、営業利益は前年比13.8%増の52億円。
- ・受注は前期(2006.4-6月)比17.3%増の453億円、海外の高需要が牽引して拡大基調。
- ・季節要因を調整すると、Mori-568PLAN最終3年目は順調な仕上がり。



損益計算書 (P/L)

(百万円)	2007年3月期 第1四半期	2008年3月期 第1四半期		
	実績	実績	増減	対前年比
売上高	35,936	43,043	7,107	19.8 %増
営業利益	4,554	5,184	630	13.8 %増
(売上高比率)	12.7%	12.0%	-0.6%	-
経常利益	4,736	5,205	469	9.9 %増
(売上高比率)	13.2%	12.1%	-1.1%	-
税引前利益	-108	5,211	5,319	黒字化
当期利益	-144	2,844	2,988	黒字化
(換算レ - ト 1US\$=)	(113.96)	(121.60)		
(1EURO=)	(144.53)	(164.01)		

前年同期の赤字は、TC売却に伴う特別損失の計上によるものであり、一時的なものであります。

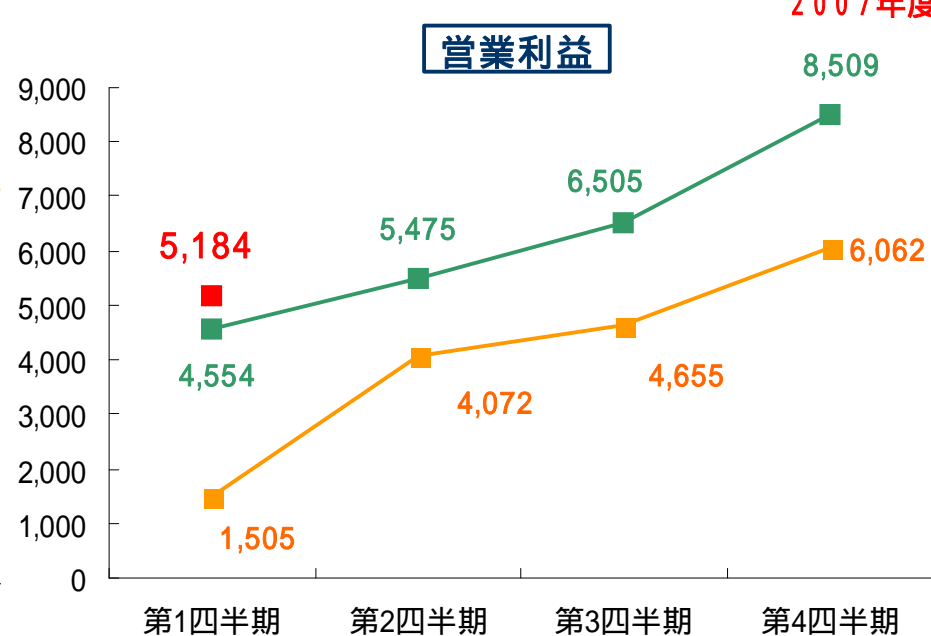
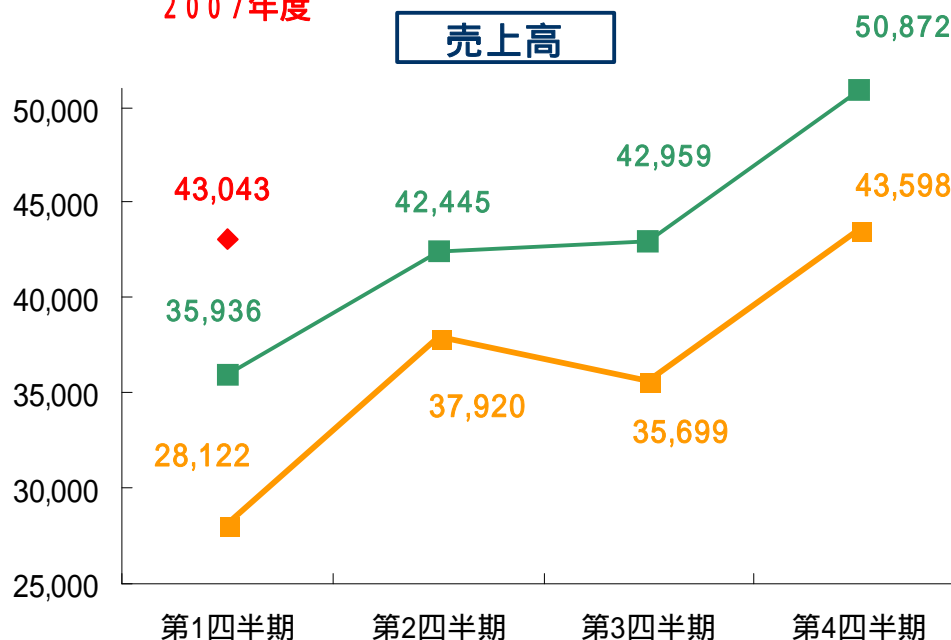


四半期推移の特徴変わらず

売上・営業利益 四半期推移

— 2005年度
— 2006年度
— 2007年度

— 2005年度
— 2006年度
— 2007年度



(百万円)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2008年3月期売上高	43,043			
2007年3月期売上高	35,936	42,445	42,959	50,872
2006年3月期売上高	28,122	37,920	35,699	43,598
2008年3月期営業利益	5,184			
2007年3月期営業利益	4,554	5,475	6,505	8,509
2006年3月期営業利益	1,505	4,072	4,655	6,062



貸借対照表 (B/S)

(百万円)	2007年3月期		2008年3月期		(百万円)	2007年3月期		2008年3月期	
	3月31日実績	6月30日実績	増減	3月31日実績		6月30日実績	増減		
資産の部					負債・資本の部				
流動資産	97,694	99,706	2,012		流動負債	31,104	36,179	5,075	
現金預金	29,959	26,544	-3,415		買掛金	11,612	12,240	628	
売掛債権	32,916	29,550	-3,366		短期借入金	1,500	1,500	0	
棚卸資産	29,904	36,271	6,367		一年以内返済長期借入金		0	0	
その他	4,915	7,341	2,426		その他流動負債	17,992	22,439	4,447	
固定資産	71,340	74,015	2,675		固定負債	6,894	6,490	-404	
建物・構築物	23,067	24,486	1,419		新株予約権付社債	3,920	3,868	-52	
機械・設備	7,004	11,762	4,758		長期借入金		0	0	
土地	15,533	15,757	224		その他固定負債	2,974	2,622	-352	
無形固定資産	4,092	4,215	123		純資産合計	131,036	131,052	16	
その他固定資産	21,644	17,795	-3,849		少数株主持分	545	577	32	
資産の合計	169,034	173,721	4,687		負債・資本の部合計	169,034	173,721	4,687	
(換算レ - ト 1US\$=)	(117.00)	(121.60)			(換算レ - ト 1US\$=)	(117.00)	(121.60)		
(1EURO=)	(151.00)	(164.01)			(1EURO=)	(151.00)	(164.01)		



固定資産と借入金の減少が顕著

回転期間、株主資本比率

	2007年3月期		2008年3月期	
	第1四半期実績		第1四半期実績	増減
売上債権回転期間	2.04	ヶ月	2.06	0.02 ヶ月
棚卸資産回転期間	2.33	ヶ月	2.53	0.20 ヶ月
仕入債務回転期間	0.84	ヶ月	0.85	0.02 ヶ月
固定資産回転期間(有形)	4.34	ヶ月	3.64	-0.69 ヶ月
借入金回転期間(含む社債)	1.74	ヶ月	0.37	-1.37 ヶ月
株主資本比率	70.0	%	75.1	5.10 %



キャッシュフロー計算書(連結)

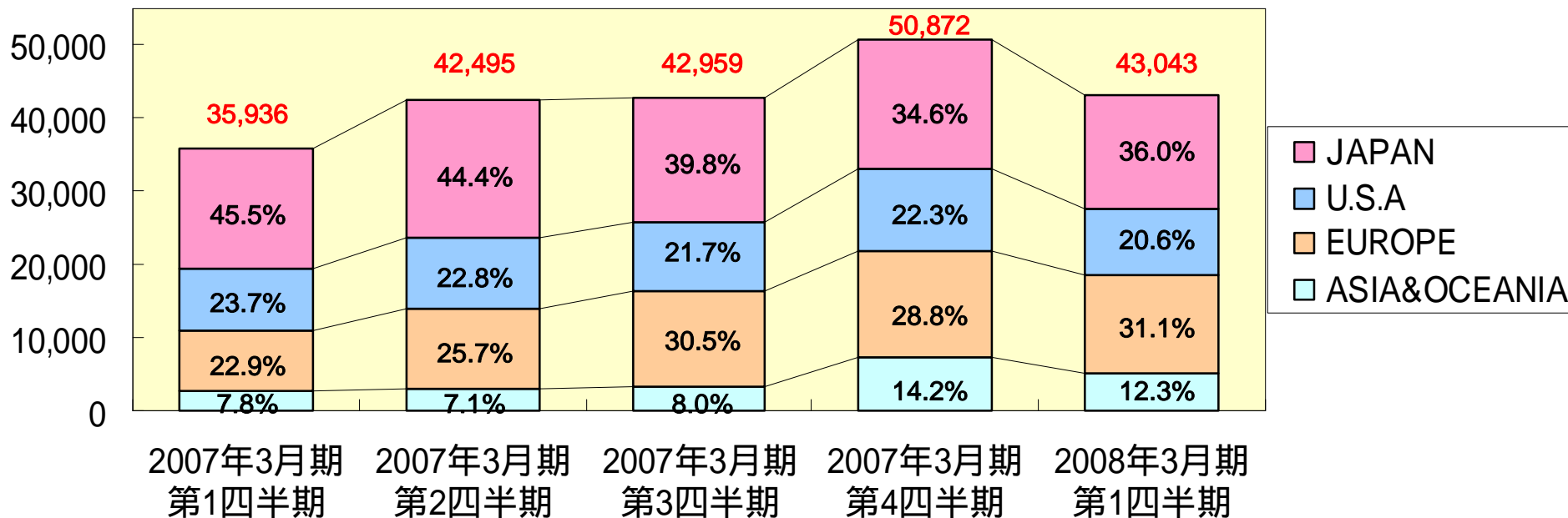
(単位:百万円)

	2007年3月期 第1四半期	2008年3月期 第1四半期
営業活動によるCF	7,540	-201
投資活動によるCF	-1,244	-2,351
財務活動によるCF	-2,633	-1,756
現金および同等物の増減額	3,523	-4,042
現金および同等物の期首残高	31,582	29,959
現金および同等物の期末残高	35,106	26,543



欧州・アジアの売上が大幅増

	2007年3月期 第1四半期		2008年3月期 第1四半期	
	売上高		売上高	(増減率)
JAPAN	16,364		15,499	-5.3%
U.S.A	8,515		8,866	4.1%
EUROPE	8,239		13,373	62.3%
ASIA&OCEANIA	2,818		5,305	88.3%
合計	35,936		43,043	19.8%



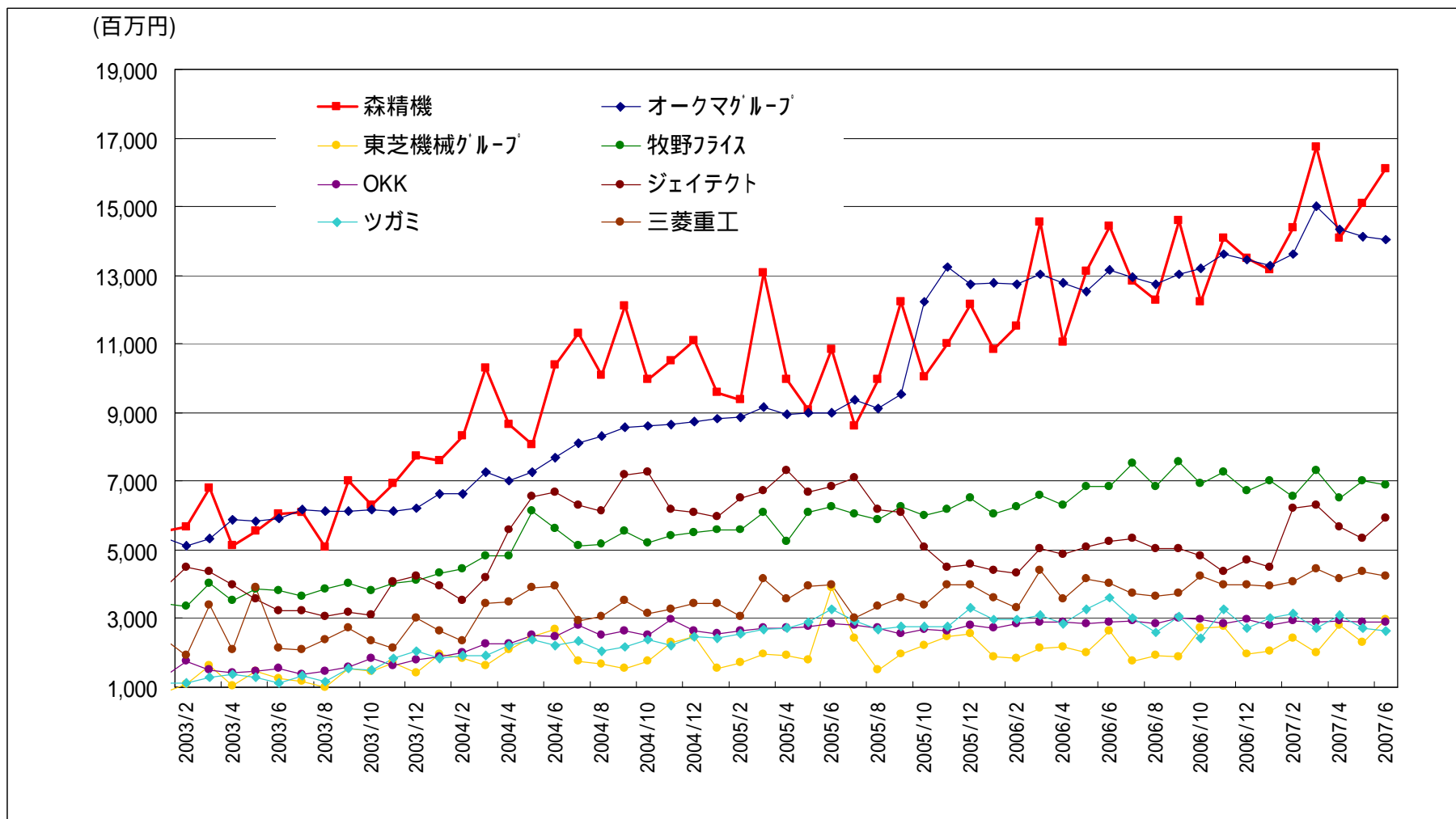


第1四半期の受注状況

- ・ 8社受注
- ・ 地域別受注
- ・ 生産・受注・在庫
- ・ 受注残



受注状況の推移

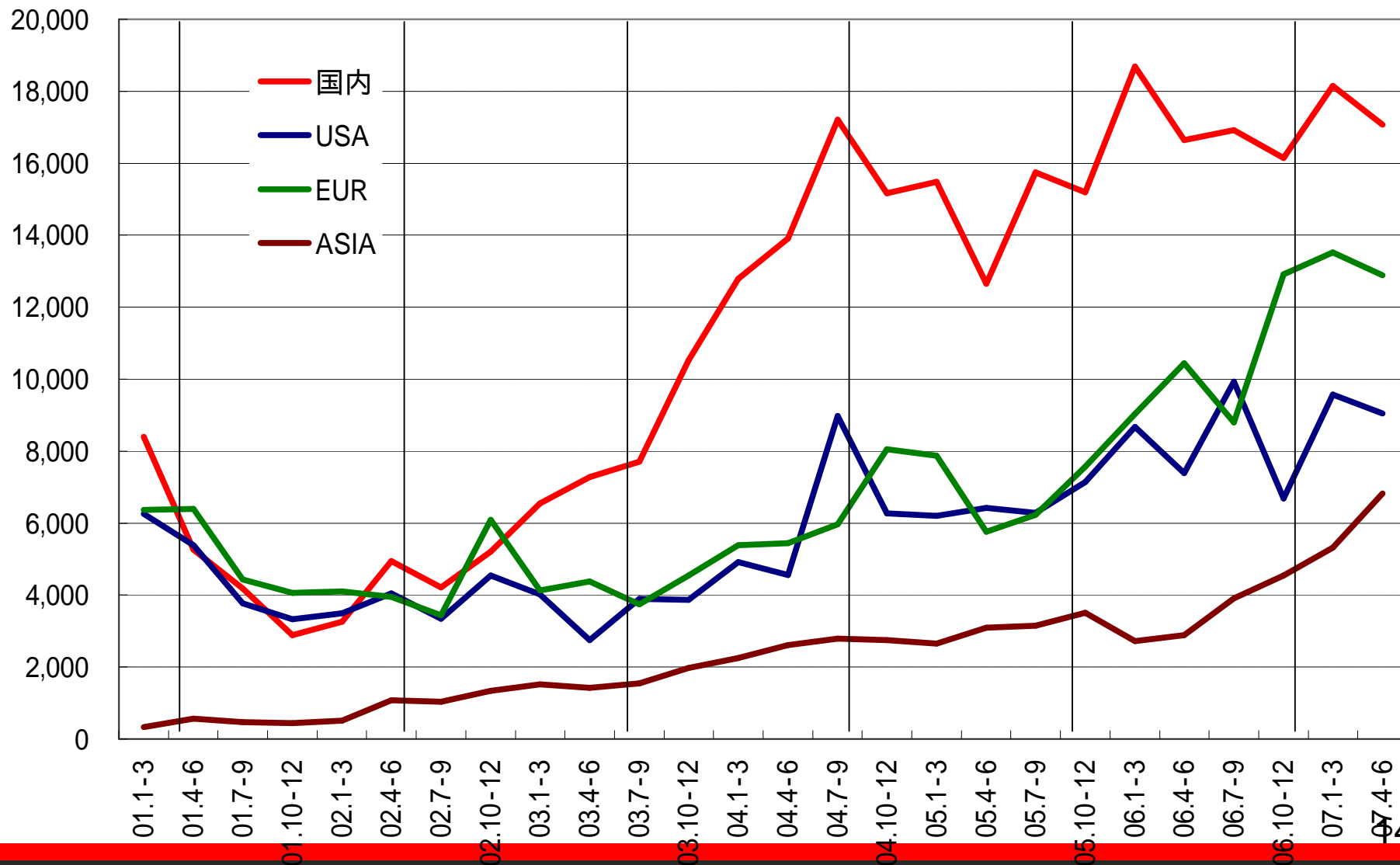




国内は高原状、海外は続伸

機械本体の地域別受注の四半期推移

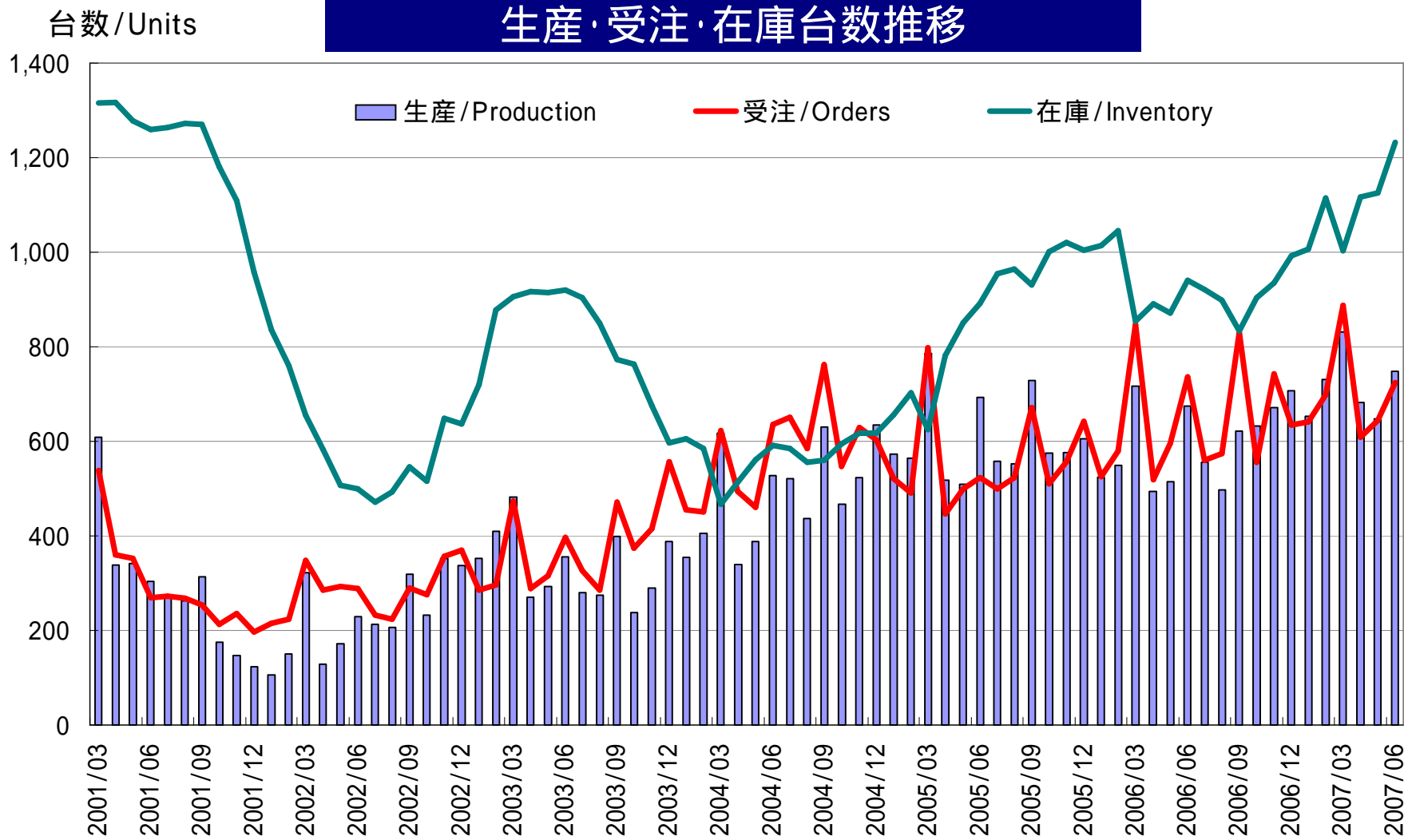
受注金額(百万円)





短納期目的での在庫を確保

生産・受注・在庫台数推移

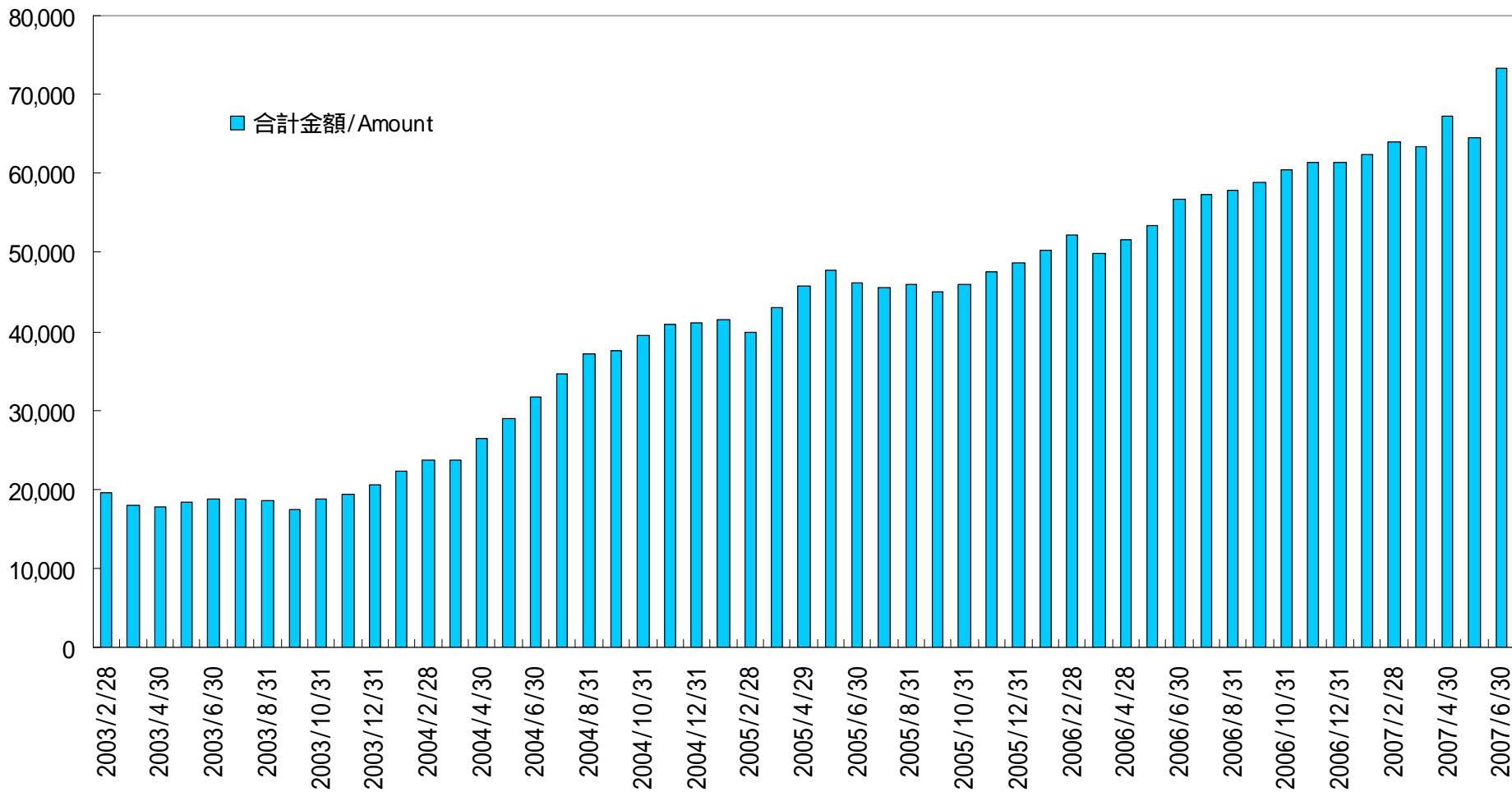




受注残は想定以上の積み上がり

受注残推移

(百万円)





MORI 568 PLAN進捗状況



Mori-568プランの目標・結果

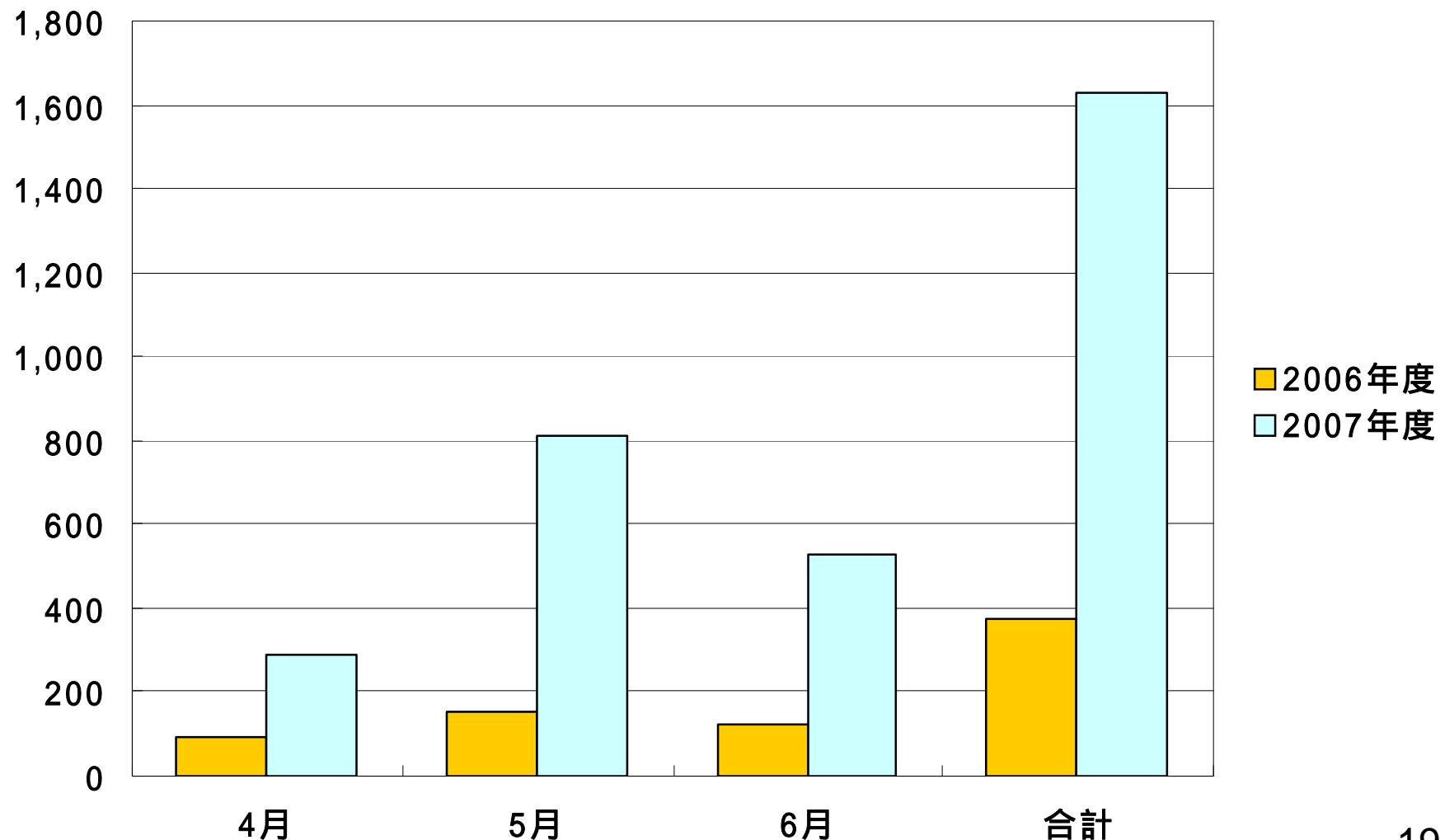
2008年3月期 第1四半期の結果

Mori-5	目標	実績
・売上	156.7億円/月 (世界シェア 4.5%)	142.7億円/月 4.2%)
Mori-6	目標	実績
・連結売上原価率	58.5%	57.6%
Mori-8	目標	実績
・月産	715台	692台(四半期平均) (太陽工機、DIXIを含む平均 702台)



成長する重要顧客部の受注

単位:百万円





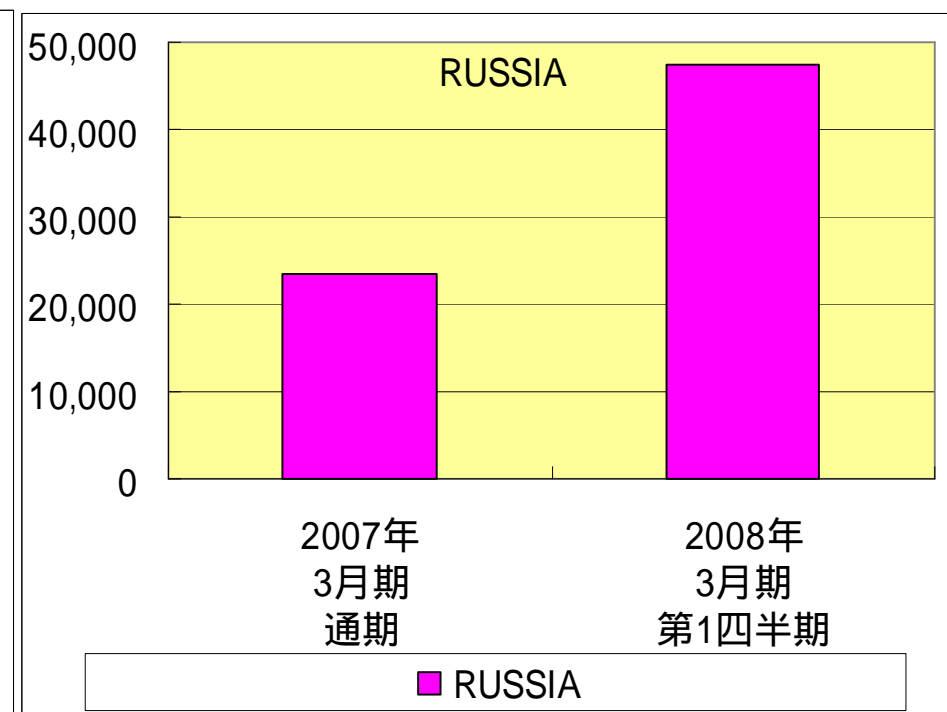
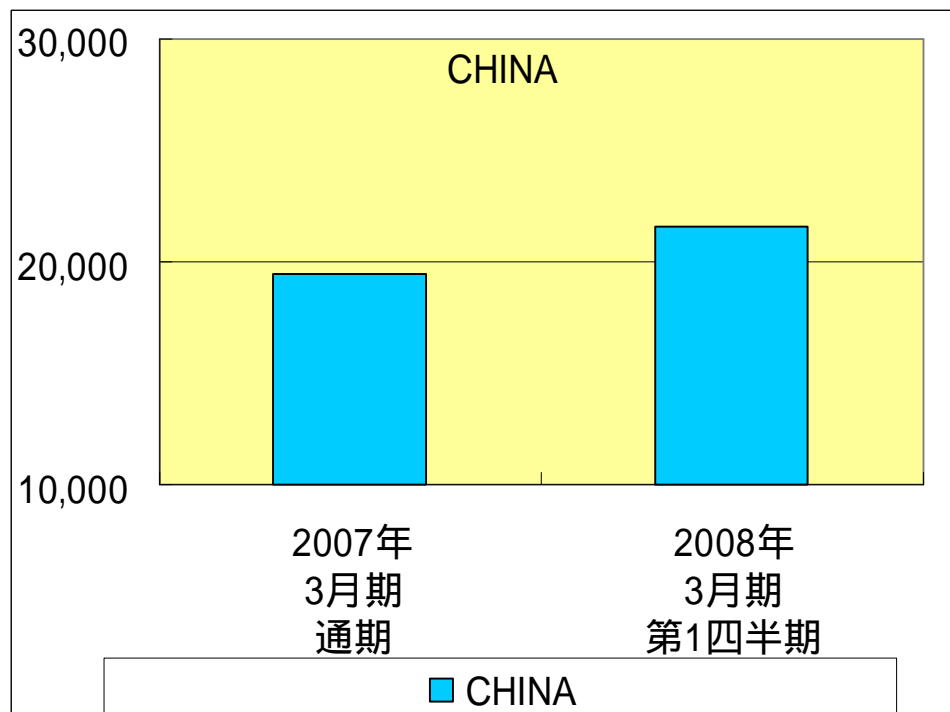
初夏プロダクティビティショー開催

- 開催場所: 森精機製作所 伊賀事業所
(三重県 伊賀市)
- 開催期間: 6月21日(木) ~ 23日(土)
- 出展機種: NMV5000 DCG (新機種)、NZシリーズ、
NVD1500 DCG、
NVD4000 DCG、
DuraVertical5060、
DuraTurn2050
- 来場者数: 6,098名(累計)
(昨年度 4095名、49%増)



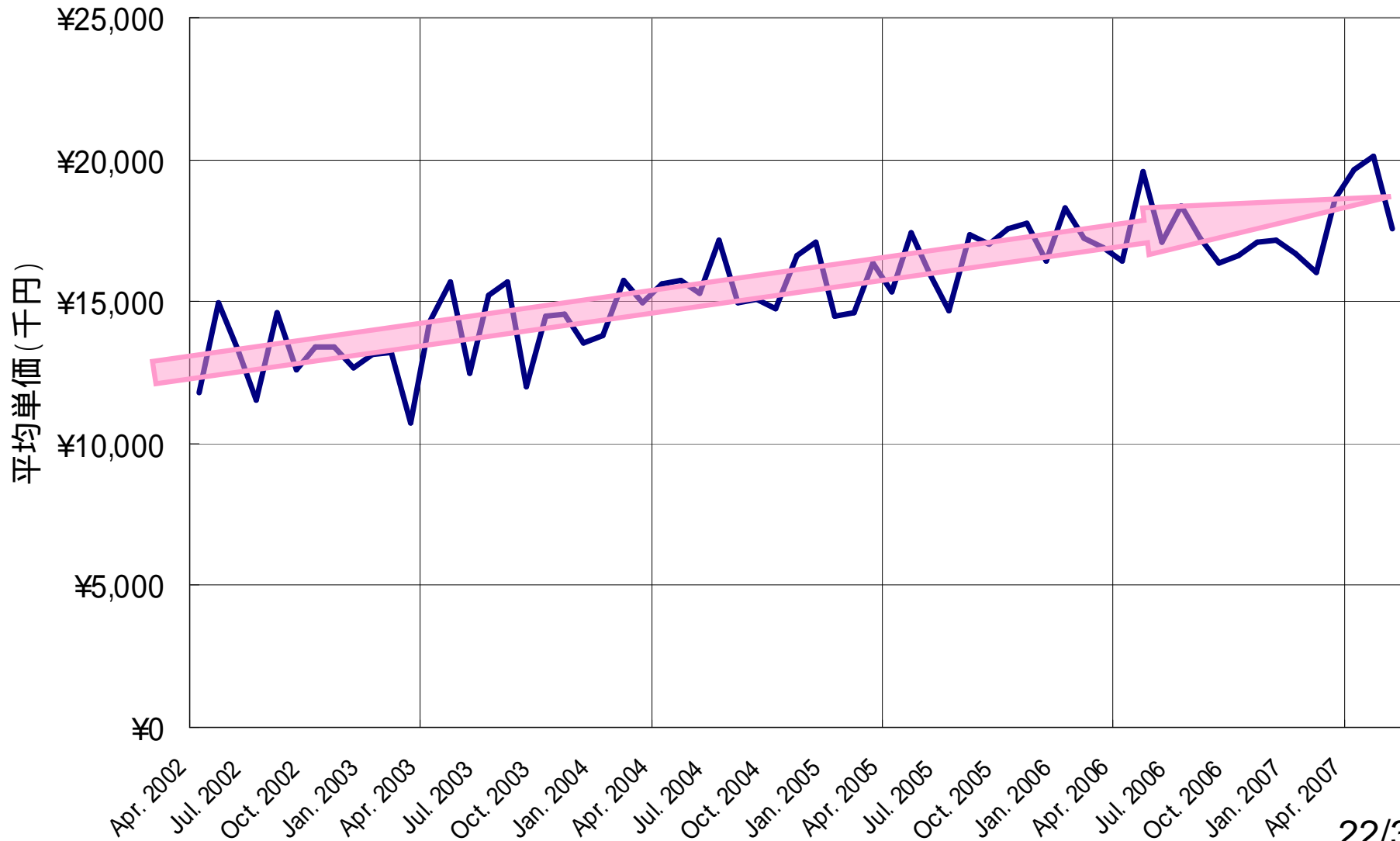


中国・ロシアにおける平均単価の上昇



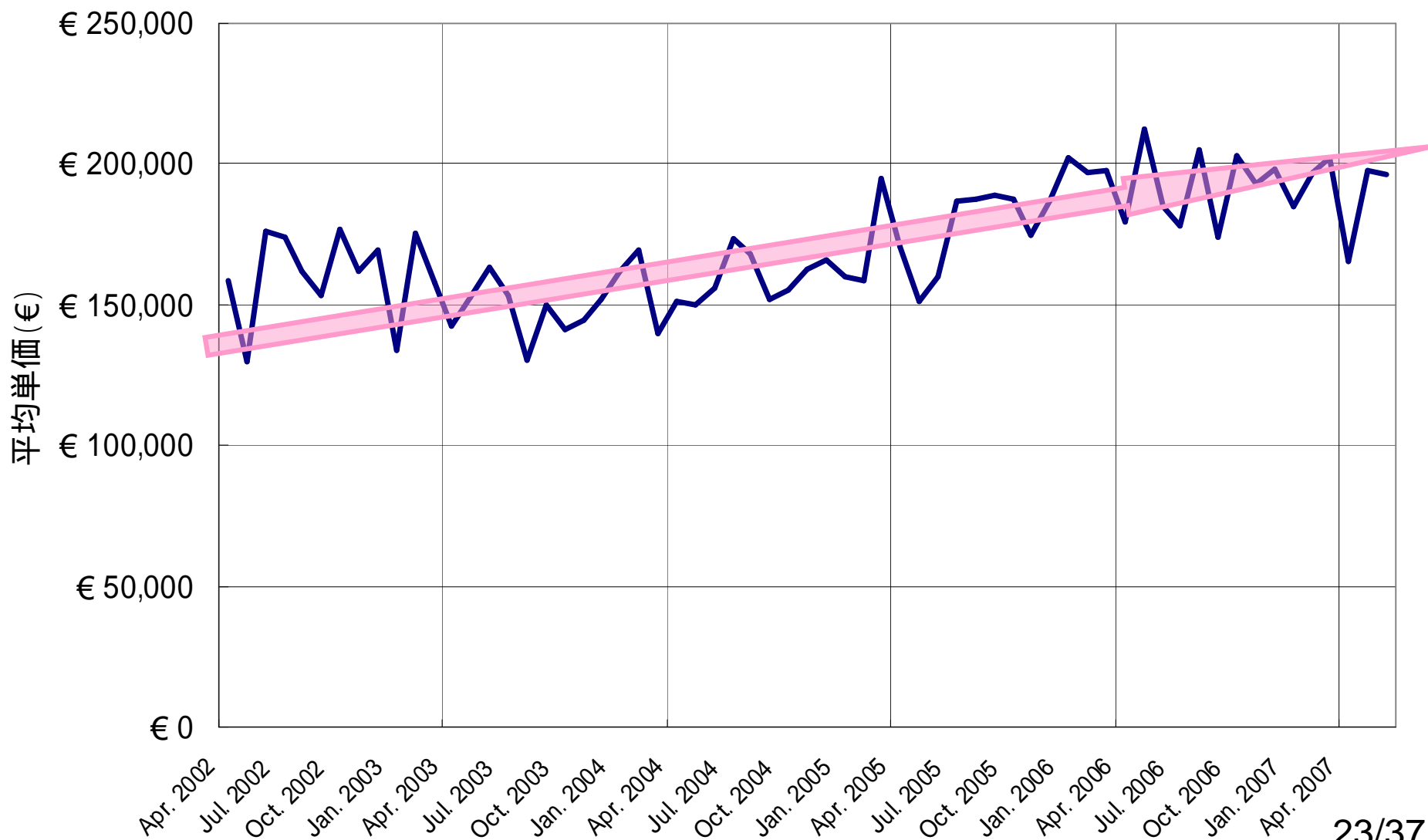


平均単価 (日本)



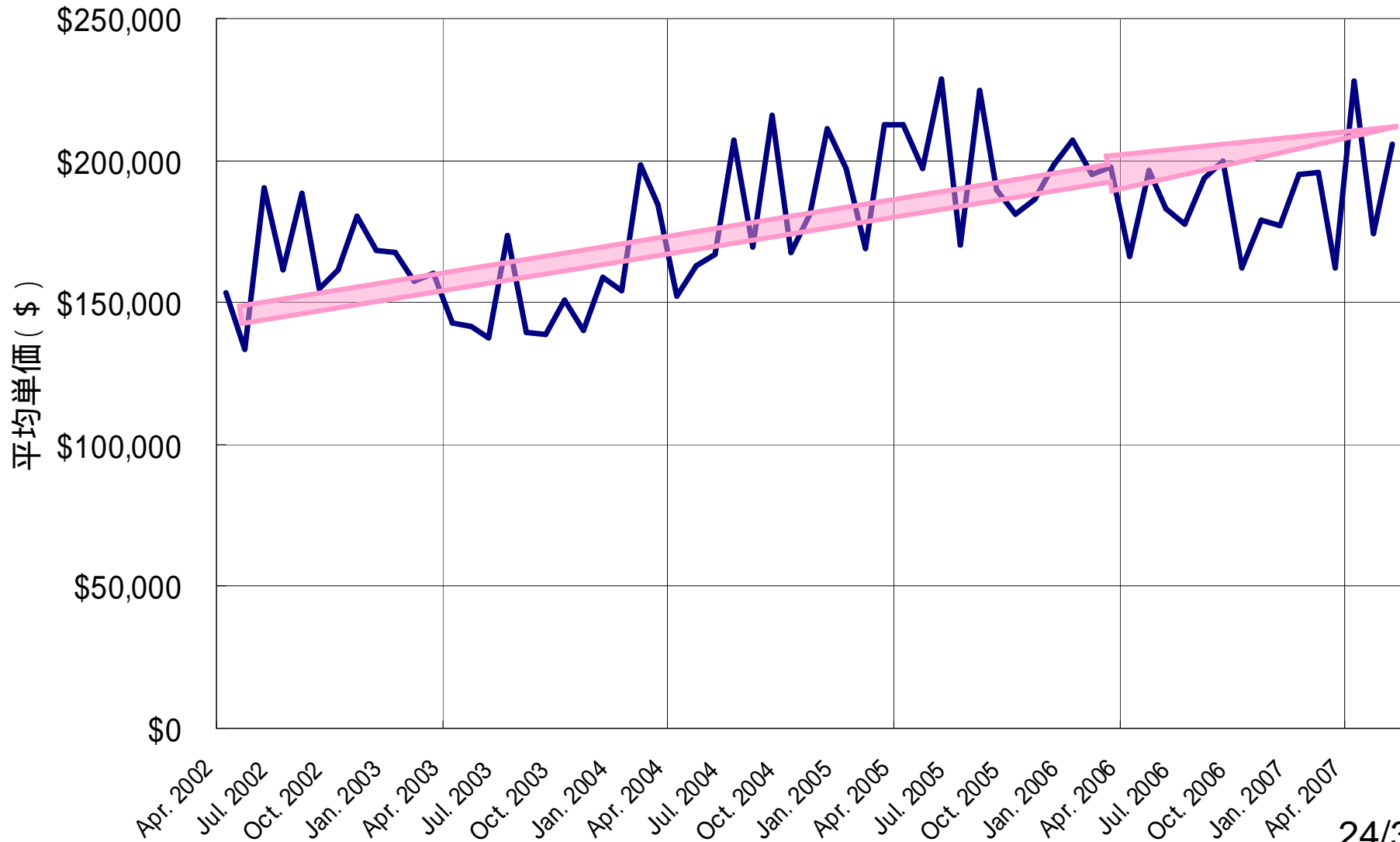


平均単価 (欧州)



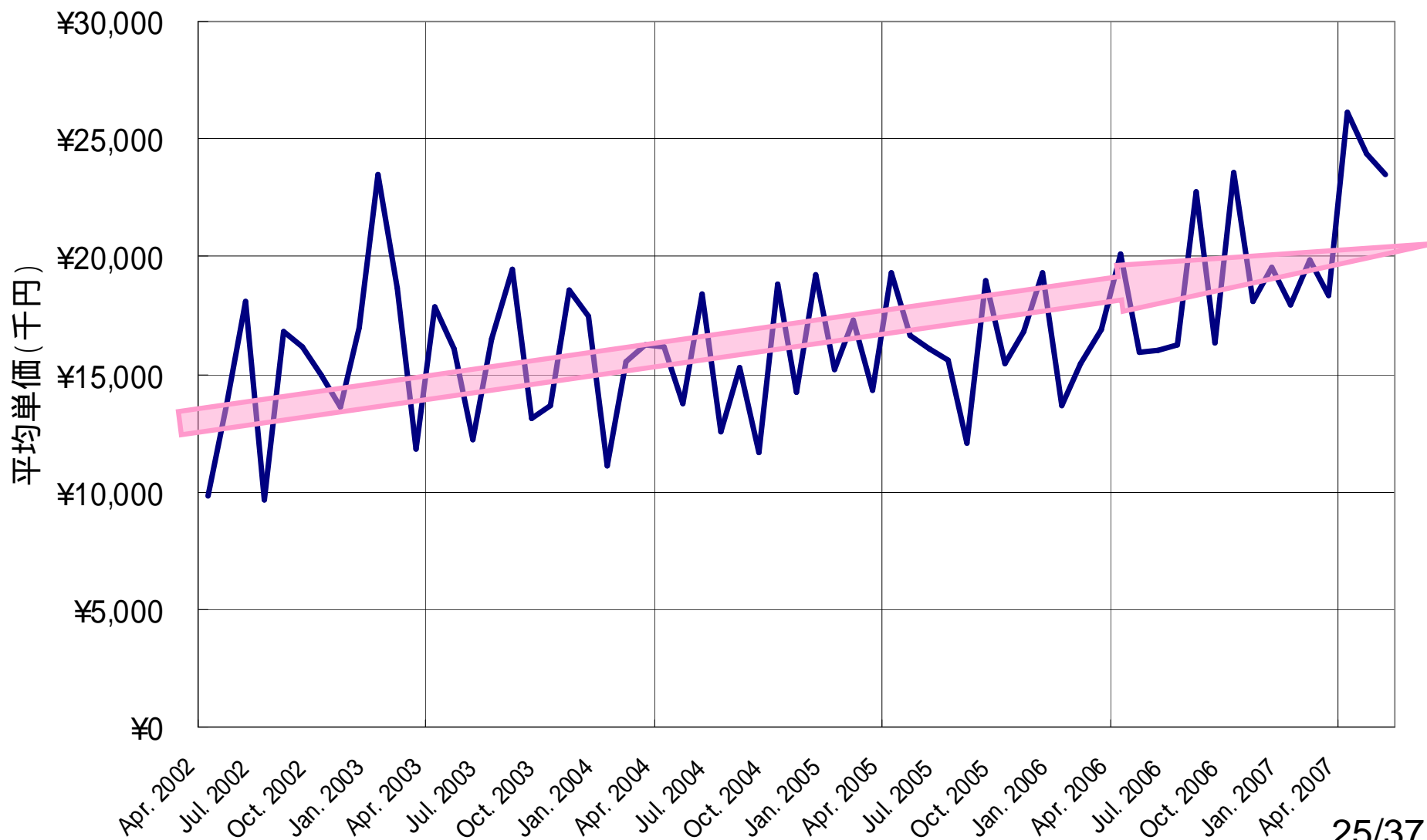


平均単価 (米州)





平均単価 (アジア)





設備機械

主な導入設備機械

総導入台数 4台

総合計金額 5億円

導入工場	機械名称	台数
伊賀加工工場	5面加工機	2台
	立形研削盤用ロボットシステム	1台
主軸工場	ターレット型複合研削盤	1台

主な導入予定設備機械

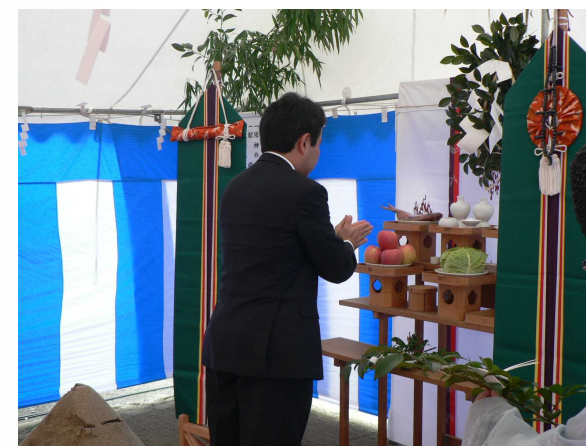
総導入予定台数 43台

総合計金額 25億円

導入工場	機械名称	台数
伊賀加工工場	横形MC + ロボットシステム	3台
ボールねじ工場	焼入れ装置	2台
	複合加工機用ロボットシステム	2台
主軸工場	複合加工機 + ロボットシステム	2台
	ベリング内製化設備	10台
千葉加工工場	複合加工機 + ロボットシステム	2台
	三次元測定器	1台
スイスDIXI machines	5面加工機	1台
	横形MC + 10PP	1台
	複合加工機	1台



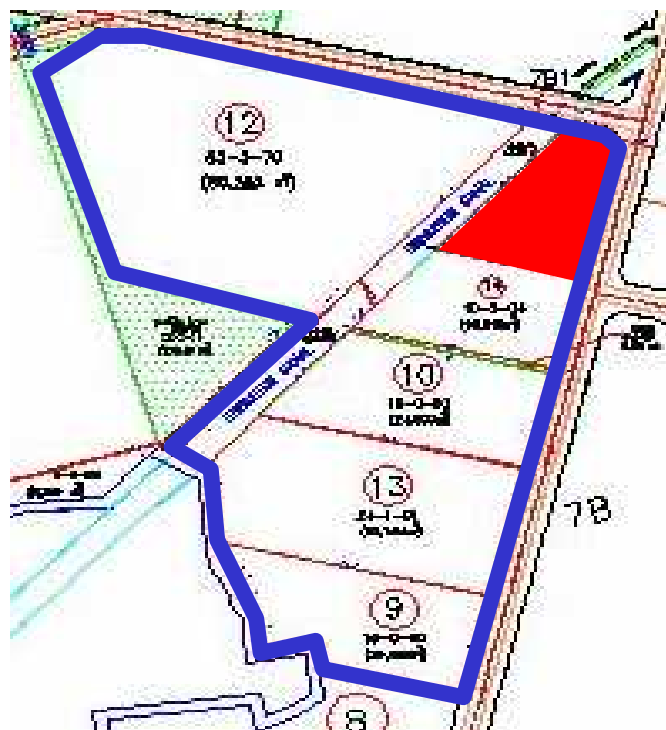
伊賀事業所土地購入全体計画



7/9 第四期造成工事地鎮祭



新タイTCの計画



青線:タイ工場建設予定地
赤塗:新タイTC建設予定地

- オフィス、展示場、トレーニングセンタ、パーツセンタ機能を持った、アジアの中核となる新TCを建設予定。
- タイから森精機日本への鋳物等の調達業務も行う。
- 場所:ロジャナ工業団地
(タイ工場建設予定地の一角の角地に建設)
- 面積: 9.49ライ (15,184m²)



TOPICS



展示会予定

EMO2007 (Hannover)

- 進化続ける “PURE TECHNOLOGY” を
欧州で一挙公開 -

日時: 2007年9月17日(月) ~ 22日(土)

会場: ドイツ・ハノーバー国際見本市会場 Hall 27 B-44

弊社ブース面積 : 2,700 m²

EMO公式Webサイト

http://www.emo-hannover.de/homepage_e

上記HPで日本の国旗をクリックすると日本語版へ移動します



EMOにて新機種発表



NMV8000 DCG

大好評の五軸制御加工機に
新シリーズ登場



NMH10000 DCG

世界最大、最高速、最高精度のトラニ
オン型5軸横形マシニングセンター



DuraTurn 2550M

待望のミーリング機能
搭載のCNC旋盤



NMV5000DCG 経済産業大臣賞受賞

NMV5000DCG

日刊工業新聞社主催「第37回機械工業デザイン賞」
の最優秀賞にあたる「経済産業大臣賞」を受賞



5軸制御高精度立形マシニングセンタ
NMV5000 DCG





DIXI にてNMV生産開始

- ・生産方式 : フルロックダウン
- ・生産開始 : 2007年10月予定
- ・生産台数 : 20台/月
- ・07年5月よりDIXI社員の組立研修開始



DIXI オープンハウス

DIXI MACHINES S.A

スイス市 Neuchatel州 Le Locle市

10月23.24.25日の3日間を予定



CNNニュースでNTが登場

AMRC社 (Advanced Manufacturing Research Center) (イギリス: Sheffield 市) が、CNNで紹介された際、森精機が納入したNT5400DCGが登場。

AMRC社はシェフィールド大学とボーイング社のジョイントプロジェクトで、弊社を含めロールスロイス社などがスポンサーとして参加。





内部統制(業務改善)の進捗

チーム名	改善依頼			
	改善依頼総数	改善済		未済
		当月分	総数	
売上・原価計算・購買・経理業務 フロー担当チーム	146 (81)	2 (1)	144 (80)	2 (1)
資産管理・財務業務フロー担当チーム	74 (55)	2 (0)	71 (54)	3 (1)
内部監査室合計	220 (136)	4 (1)	215 (134)	5 (2)
パーセンテージ			98%	2%

改善終了プロセス

()は財務報告に係る改善

売上(国内本体)
 実地棚卸
 業務委託料
 資産の評価
 関連会社貸付
 回収業務

売上(国内S&P)
 メンテナンス・リース
 外貨換算・デリバティブ
 税金計算及び税効果計算
 有価証券
 財務諸表作成

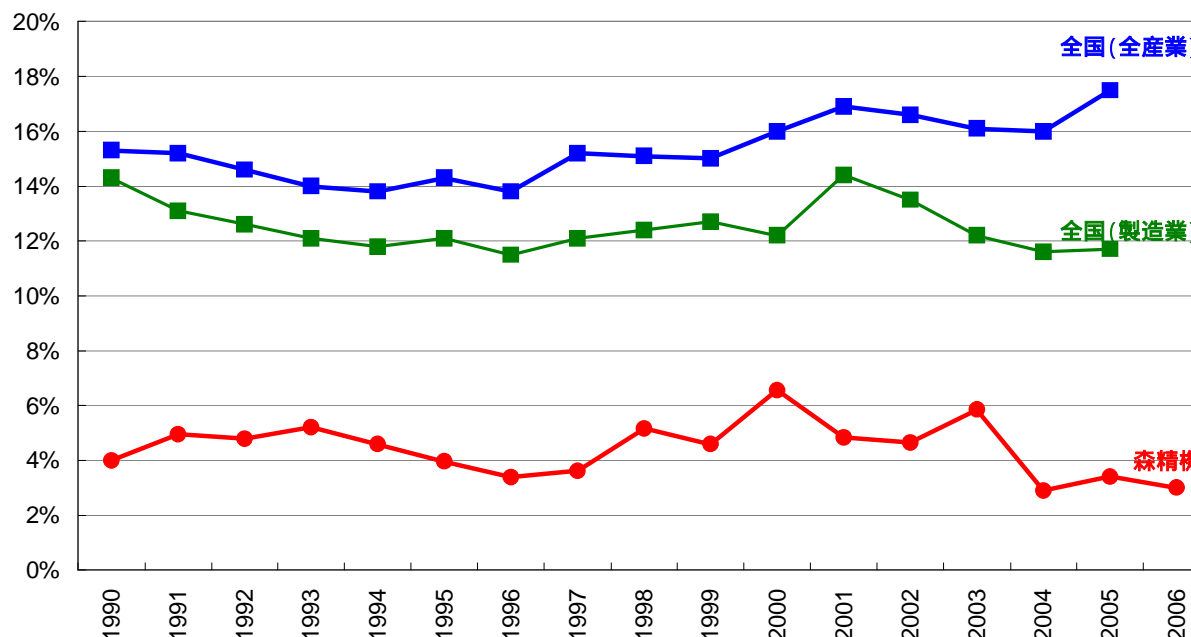
売上(海外パーツ)
 貸倒引当金
 人件費計上
 借入・返済
 経費計上・支払

購買業務
 資本等取引



好調な採用、離職率の低下

- 2009年度内定者出身校(213名)
東京大学、京都大学、大阪大学、早稲田大学、
慶應義塾大学、カリフォルニア大学、ミシガン大学他
- 離職率は3年連続3.5%以下





人材育成への投資

- 4月入社式から約4ヶ月をかけて、製造研修(製造の各部門にて実習)・技能研修を実施
- 社内に講師を招いての英会話研修(週1回)、定期的にTOEIC団体受験に実施
- 出身大学でのMBA、MOT取得制度の設立
- RST研修、財務研修などを職種に応じて実施

(RST=Rodosho Safety and Health Education Trainer)



製造研修風景